

あうみネット



BIWA CHAN

淡海の市民活動・ネットワーク情報誌
Collaboration Paper for Voluntary Network in Ohmi

●発行日/2008年10月1日 ●発行所/(財)淡海文化振興財団

No.
65
2008年
10・11月号

CONTENTS

特集●淡海とびっくす ②

滋賀の市民メディアを 紹介します！

第4回もりやま市民活動屋台村 あなたもできる！ 知ろう、つなごう、市民の輪

日時●11月23日(日)～24日(月・祝)

場所●守山市民交流センター(さんさん守山)

入場料●無料

連絡先●もりやま市第4回市民活動屋台村実行委員会
事務局 守山市民交流センター(さんさん守山)
TEL:077-583-2975

今年度も「もりやま市民活動屋台村」を開催いたします。守山市民の皆さまも、周辺の市民活動団体の皆さまも、一堂に会して、日ごろの活動をお互いに知り合い、皆さんと交流していただく場です。ご来場お待ちしております。



きづき・きっかけ・きずな ボランティア2008 ～いきいきふれあいつながるころ～

日時●12月6日(土)10:00～16:00

場所●県立長寿社会福祉センター(草津市笠山7-8-138)

入場料●無料

連絡先●滋賀県社会福祉協議会ボランティアセンター
TEL:077-567-3924

「国際ボランティア・デー(12月5日)前後の「ボランティアウィーク」に合わせ、今年度も「きづき・



きっかけ・きずなボランティア」を開催します。様々な企画を予定していますので、是非、ご参加ください！



■NPOさぽーとぽけっと ①

地域の居場所、コミュニティ・サロンの運営

～飲み物、食事などの提供、安心してご利用いただくために～

■市民団体活動紹介 ⑤

NPOのわっ

●休日を楽しむ会ニコニコクラブ

●特定非営利活動法人スミス会議

●特定非営利活動法人 野性塾

■おうみネット★ INFORMATION ⑦ 10月・11月

『普通はね、そんなことはしないよ』といわれる時の普通は、普通であるという状態が肯定的に捉えられています。でも「普通」って何だろう。

日米合わせて20数年市民活動に公私ともに関わっていると、何がしか自発的に社会活動を行っている人達が回りはたくさんいて、それが当たり前ようになっていく。ふと普通の人の暮らしてなんだろうと思うときがあります。普通ってどういうことかと、皆さんも一度は考えたことがあるのではないのでしょうか。普通という状態が肯定的な場合や平凡でつまらないという否定的な意味、中立的に使われる場合など。また、同時に時代や文化等によっても「普通」のイメージは変化します。今は違和感をもたれてはいるけれど、いつかみんなが好意的に「普通」という状態を創り出す。そんな醍醐味が感じられるのも市民活動。しかしその反面、今の

「普通」を変えようと熱くなりすぎて、純粹特化していく傾向もあり、そうなるといつまでたっても普通の人の距離はあいたままで、現状は変わらない。その意味で、「普通」の人の「普通」意識を鋭敏にキャッチできる感性と我慢が必要と自戒を込めて感じる今日この頃です。

さて「普通」に「力」を加えるとどうなるか。力の使い方もいろいろなバリエーションがあります。経済力、政治力という一般的な使い方から、人間力、文化力、老人力、鈍感力、目力などなど、最近はいろんな言葉と力を組み合わせで使われることが多くなってきましたね。「力」とは、ある状態や物事を変化させることです。今の「普通」を次の「普通」に変える「普通力」が私たちに求められているのですね。

それにしても「普通」って何だろう。

淡海ネットワークセンター事務局長 浅野 令子

rain or shine

市民の散歩道

Essay · エッセイ

普通ということ

NPO SUPPORT POCKET

あなたのNPO活動をサポートする情報をお届けします。

●NPOさぽーとぽけっと●

地域の居場所、コミュニティ・サロンの運営

～飲み物、食事などの提供、安心してご利用いただくために～

今、地域では子育てサロンや誰もが気軽に集まれる居場所など、コミュニティ・サロンと呼ばれる場が増えています。ゆっくりくつろいでいただくツールとして、飲み物やクッキーなどの販売や食事の提供がされていますが、このような場は「コミュニティ・カフェ」と呼ばれており、地域の人と人をつなげ、地域全体をいきいきとさせる場として、各地で広がってきています。

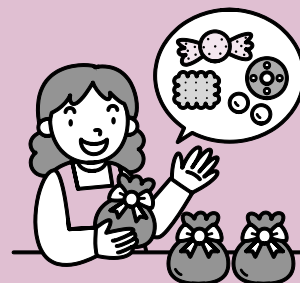
今回は、このような場所で、食事や飲み物を提供したい、ケーキやクッキーなどをちょっと販売したい、そんな時にどんな準備が必要かを考えてみました。すでに始めている方もご確認いただければと思います。

●お茶やコーヒーを出したい、手作り昼食を提供したい

公民館などで時々見かける「自由にお飲みください」と出されているコーヒーやお茶のサービス。不特定多数の人を対象に、反復継続的にコーヒーやお茶を提供する場合、喫茶店営業の許可が必要です。また、食事を提供する場合は飲食店営業の許可が必要です。無償で提供される場合でも許可が必要になることがあります。

●手作りのケーキやクッキーを販売したい

手作りケーキやクッキーを販売する場合、それらの製造施設には菓子製造業の許可が必要です。手作りケーキやクッキーをその場で提供する場合は、飲食店営業もしくは喫茶店営業の許可が必要です。



●食品営業許可を取得するには

営業のための専用の厨房が必要です。(自宅の厨房や不特定多数の者が利用する公共の施設の厨房等との兼用は認められません。) また、専用の手洗い設備や給湯設備等、必要な施設設備の基準があります。

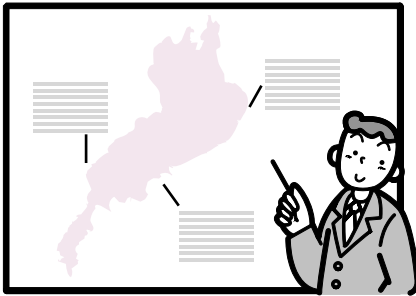
サロンや居場所で安心してお食事などを提供し、また安心して利用していただくために、具体的な内容が決まりましたら、まず最寄りの保健所までご相談ください。

- 大津保健所：077(522)8427
- 草津保健所：077(562)3549
- 甲賀保健所：0748(63)6149
- 東近江保健所：0748(22)1266
- 彦根保健所：0749(21)0284
- 長浜保健所：0749(65)6660
- 高島保健所：0740(22)3552
- 滋賀県健康福祉部生活衛生課
「食の安全推進室」：077(528)3643



飲食店営業、喫茶店営業、菓子製造業などの34業種の営業は、食品衛生法により保健所長の許可が必要です。営業者が保健所長に営業許可を申請し、お店が施設基準に合致していれば認められます。

滋賀の市民メディアを紹介します!



地元の素敵なお店、近所のかくれた名所、まちでがんばる市民グループなど身近な話題を市民に発信するのが「市民メディア」です。滋賀にも市民が作る情報紙やラジオなどが増えてきています。

「市民メディア」について、市民が洞爺湖サミットを発信した札幌市の「市民メディアセンター」設置に関わられた松浦さんから紹介していただきました。身近なことから発信を始めるきっかけにしていいただければ幸いです。

市民メディア 〜十人十色のメディア〜



NGOコミュニティ・メディア・リソース代表

松浦哲郎さん

松浦哲郎さん●プロフィール

1976年生まれ。石川県金沢市出身。龍谷大学社会学部講師。AMARC（世界コミュニティラジオ放送連盟）アジア太平洋地域理事。NGOコミュニティ・メディア・リソース代表。メディアを社会づくりの力とするため、活動を続けている。

限定の情報や少数者の意見が取り上げられることは稀です。

しかし一九七〇年代に入

「市民メディア」と聞いてピンと来る方は少ないかも知れません。自身帰省の度に、「あんたいつも何やってんの？」と母に聞かれます。「みんなが思ったことを自由に表現してもいい」という考えで、いろいろ発信してんだよ」と熱く語りだす私をよそに、「ふうん」とか言いながら、母は裏の畑へキュウリをもぎに出て行ってしまいます…（泣笑）。

私たちの暮らしは、大規模な新聞社や放送局、いわゆる「マス・メディア」が発信する情報であふれています。「スポンサー」と呼ばれる大企業の広告をより多くの人々に見てもらうために、大勢が関心を持つと思われる記事や番組を、その広告と一緒に流しています。そのため、地域

う、という信念を持って行っている必要ありません。社会全体が多様な意見で満たされることにより、結果として社会が豊かになって行くのです。特に日本では個人の意見よりも組織の論理が優先するような向きがありますから、個人が自由に発言したり、批評したりできる雰囲気づくりが大切です。

もちろん近年社会問題化しているインターネット上でのいじめや、誹謗中傷に対する取り組みは必要かもしれません。しかしそれが市民の自由な発言に規制の網をかけるという、安易な策ではいけません。

一九四八年に定められた国連の世界人権宣言第十九条は、「(意識)すべての人は、自分が望むいかなるメディアを通じてでも、自分の意見を自由に表現する権利を持っている」と述べています。私はたまに想像します。帰省した私を、右手にキュウリ、左手にマイクを握って出迎える「最近畑の様子を毎日しゃべってインターネットにあげてるんだよ。詳しい人が手伝ってくれてさあ」と嬉しそうに語る母の姿を。

発信者が必ずしも社会を良くしよう、

●滋賀咲くブログ●

- 管理者／合資会社ドットラボ
- 〒520-0806
大津市打出浜2-1コラボしが21 406号
- TEL：077-558-6070
FAX：077-527-6518
- E-mail：info@dotlab.jp
- URL：http://shiga-saku.net/
- 会員数：2,061人
- 開設ブログ数：1,956



▲編集会議。主に3名のスタッフと外部の協カライターにより運営

県紙のない滋賀に新聞を！ということで2005年4月「みんなの滋賀新聞」が創刊されました。私はそこで広告担当として勤務。新聞は残念ながら半年で休刊、会社は倒産してしまいましたが、私自身はその経験を通して「地域における情報の価値、必要性」など様々な事を客観的に学べました。又、滋賀には素晴らしいものが沢山あることも…。

情報の受・発信を取り巻く状況は今、メディアの増加、インターネットの普及、ブログやSNSに代表されるCGM（消費者作成メディア）の隆盛など、大きな変化を迎えています。地域における生活者の情報や企業・団体の情報が緩やかにつながり、交流できる場所が簡単に構築できる時代になったとも言えます。多くのNPOや市民団体のみなさんが滋賀咲くブログを情報発信ツールとして又ホームページとして活用されてらっしゃいます。ご利用は無料です。ぜひブログに挑戦してみてください。毎月、無料講習会も開催しています。
(滋賀咲くブログ運営ドットラボ 松崎和弘)

●高島きてねっと●

- 管理者／高島市役所情報統計課
- 〒520-1593
高島市新旭町北畑565
- TEL：0740-25-8527
- E-mail：jouhou@city.takashima.shiga.jp
- URL：http://sns.city.takashima.shiga.jp
- 参加者人数：255人（2008年7月現在）



本市は、『お互いさま』と『おかげさま』が対流する『環の郷たかしま』の実現』をまちづくりの基本理念として掲げ、地域のより良い資源や特性を活かしながら市民の一体感をより強固にし、活力と魅力に富んだ新しいまちづくりを目指しています。昨年11月、地域の賑わいの創出と新たなコミュニケーションツールでまちづくりの基本理念の推進を目的に、地域密着型SNS「高島きてねっと！」をオープンし、市民同士の交流の場として、市民が自由に意見交換・情報発信できる場を提供しています。「高島きてねっと！」を通じて、観光客の誘致促進を図り、高島ファンの創出および高島ファンと地域住民との新たなコミュニティの創出を目指しています。また、SNSの特徴である非匿名性と双方向の通信を活かした、新たなコミュニティの形成、市民との対話による市民の生の意見をまちづくりに活かすことにより、市民によるまちづくりの推進を目指しています。高島きてねっと！」では、地域密着型であるからこそその魅力を生み出したいと考えています。地域の楽しい店舗コミュニティ、子育てサークルや育児についての情報、いろいろな団体の活動情報等、細やかな情報を発信・交換することや、災害時には被災状況の迅速な収集や安否情報等、『草の根メディア』として市民に愛されることを目指しています。

私たちが大切にしているのは、毎日の暮らしを応援する生活情報、行政情報、地域の経済・文化情報をきめ細かくお知らせする事。人と人を結びコミュニケーション。湖東地域の豊かな自然、心に響く景観、大地の恵み、人情味溢れる人々。そこから生まれる声を発信しています。

■B-WAVE FM

会社名：株式会社 BIWA WAVE
所在地：〒523-0891
近江八幡市鷹飼町179マイカル2番街1F
TEL：0748-38-5229
FAX：0748-37-7879
E-mail：info@b-wave.fm
URL：http://www.b-wave.fm/
周波数：79.1MHz
受信エリア：湖東、湖南エリア
近江八幡市市民ニーズに対応した情報（行政情報、生活関連情報、イベント情報等）を始め、地域の特色を活かした番組や住民参加型の番組を制作し、万一の災害時には、いち早く地域住民の方々に発信することを目的に開局しています。

■FM草津コミュニティ放送局（仮称・2009年春開局）
会社名／株式会社えふえむ草津（FM草津開局準備室）
所在地／〒525-0034 草津市草津3-13-25
草津市役所旧庁舎2F
TEL&FAX：077-566-5353
E-mail：fm-kusatsu@wave.plala.or.jp
URL：http://fm-kusatsu.net/
草津に住む人・学ぶ人・働く人のためのコミュニティFM放送局。市民の「生活」・「安全」を核

とした「市民に愛される市民参加型の地域情報発信基地」を目指しています。現在、アナウンサー体験基礎講座も実施中！！

インターネットでの発信

■インターネットラジオステーション 高島しぐれ
所在地：高島市新旭町藁園 道の駅 風車村
TEL：090-9887-2905
E-mail：stardust@hosi-kuzu.com
URL：http://www.hosi-kuzu.com/
高島っていろんな人が、以外といろんな事をやったりします。でも、そんな人々を紹介してもらおうとってほんの一つまみだけです。だったら、高島発の情報ツールならもっとたくさんの人に知ってもらえます。しかもインターネットなら世界中に！まだまだ始めたばかりの放送局ですが、ご期待ください！

地域SNS

■おおつSNS
管理者／大津市役所情報システム課
〒520-8575 大津市御陵町3-1
TEL：077-528-2713
URL：https://www.sns.city.otsu.shiga.jp/
参加者人数／1,013人（2008年8月19日現在）
おおつSNSは、大津に興味のある方が地域情報を交換したり、同じ趣味を持った人と知り合ったり、コミュニケーションを楽しみながら活動を広げていくコミュニティ型のサイトです。上手に活用して、大津ライフを充実させましょう！

●滋賀の近くの元気なSNSご紹介●

“地域と人をつなぐ
京都山城地域SNS「お茶っ人」”

2006年から始まった京都山城地域SNS「お茶っ人」は、インターネットの中で知り合った仲間が、2007年にイベント「お茶っ人庵」を開催し、生ライブや写真、絵画展など多様な趣味や個性を持つ市民が集まりました。また2007年11月にはパソコンが苦手な人も楽しめる「お茶っ人新聞」が参加者の手で創刊され、7500部が発行されています。東京千代田区の地域SNS「ちょっぴー」とも交流が生まれ、千代田区主催の「さくら祭り」に「お茶っ人」から物産販売に参加しています。

- 運営／宇治大好きネット
- 管理者／宇治市役所IT推進課
- URL／http://www.sns.ochatt.jp/

このような地域SNSが、それぞれの地域で住民同士のリアルなつながりを生みだし、「顔が見えるネットワーク」を広げて行くきっかけになるといいですね。

※SNSとは、「ソーシャルネットワーキングサービス」の略で、インターネット上で、参加者がお互いに友人を紹介しあって、交友関係を広げ、人と人のつながりを促進・サポートするWebサイトです。

滋賀の市民メディア

このコーナーでは、淡海ネットワークセンターに送られてくる情報紙や地域のラジオ局などから、発信を始めたきっかけや熱い思いをご紹介します。みなさんの地域の素敵な市民メディアも、ぜひ教えてください。

●GENKI情報発信基地 びいめ〜る●

- 発行部数/22,000部（無料配布）
- 発行日/偶数月の1日
- エリア/全県
- 発行所/NPO法人びいめ〜る企画室
- 〒520-3031
栗東市穂2-4-5ウイングプラザ2F
- TEL: 077-554-1774
FAX: 077-554-1792
- E-mail: info@bmail.gr.jp
- URL: http://www.bmail.gr.jp



活動を始めたきっかけは、他府県から滋賀に越して来た際、子育て世代向けの生活情報が全く手に入らず途方に暮れたことです。「無いのなら自分たちで作ってしまおう」と、インターネットのママサークル内で呼びかけ、見よう見まねで創刊準備号を発行したのが1997年。以来11年、「滋賀の女性が自分らしい一歩を踏み出すための情報を提供する」という設立理念の元、WEB、出版、ラジオ、テレビ、コミュニティカフェ運営と活動の領域を広げてきました。

「女性」「子育て」「福祉」「環境」という柱のもと、車いすトイレやオムツ替えマークを記載するなど、生活者の視点に立ったきめ細かな情報発信を続ける姿勢が、子育て中の女性のみならず様々な層の支持を受けたということが、続けて来られた大きな要因ではないでしょうか。これからも、びいめ〜るならではの広域性やマルチメディアといった特徴を活かして、滋賀をGENKIにする情報を発信し続けたいと思います。

●エフエムひこね●

- 会社名/エフエムひこねコミュニティ放送株式会社
- 所在地/〒522-0062
彦根市立花町6-19 OBPビル2F
- TEL: 0749-30-3355
FAX: 0749-27-3986
- E-mail: 782@fmhikone.jp
- URL: http://www.fmhikone.jp
- 周波数/78.2MHz
- 受信エリア/彦根市、長浜市、豊郷町、甲良市、多賀町、愛知川町



《大津や湖南地域を重視する、滋賀県内のメディアの在り方に一石を投じたい。名ばかりではなく、地元民が主体・主役となった“ほんまもん”の地域密着を具現化したい》

そんな反骨精神で、六年前に県内初のコミュニティFMとして、競争が激化するメディアの大海原に船出しました。

彦根市内の火災、土砂災害、河川の氾濫などの災害情報や、学校給食の献立、修学旅行中の児童・生徒の安否確認、地域イベントの雨天中止情報など、エフエムひこねでしか伝えられない情報があります。弊社では、これらの貴重な情報をいち早く市民の皆様へ伝えることを、一番重要な使命と考え、日々精進しております。

美しく煌びやかな放送を、私たちは目指すではありません。常に市民の目線に立ち、泥臭くとも市民に有用で、愛される“ほんまもん”の地域密着を目指して、これからも彦根を舞台に邁進していく所存です。

情報紙

■DADA Journal

発行部数/32,000部（無料配布）
エリア/湖東・湖北 新聞折込（読売）
発行所/（有）北風寫真館
〒522-0064 彦根市本町2-3-3
TEL: 0749-27-2620
FAX: 0749-27-2621
E-mail: info@aluji.co.jp
創刊20年、2008年9月で450号の発行となる。読者も世代交代し中学生だった少女が母となり、少年はオヤジになって、時々、変わらぬ誌面が懐かしいとハガキが寄せられる。淡海を愛するすべての人に贈る、今時、文字ばかりの情報誌である。

■にゅーすもりやま

発行部数/3,000部（無料配布）
発行日/毎月1日・15日
エリア/守山駅周辺
新聞折込（朝日・日経新聞）
発行所/ニュースコバヤシ
〒524-0021 守山市吉身1-2-19
TEL: 077-583-5546
FAX: 077-583-6090
E-mail: news-k@pk2.so-net.ne.jp
熱く行動している守山人がいます！おもしろそうなイベントあります！こんな場所はいかがでしょう！「おっ」「へえ〜」とお目にとまったら、どうぞ出かけてみてください。あなたのmoveのお役に立ちたいにゅーすもりやまです。

■スマイルニュースmeetsたまるんるん

発行部数/6,000部（無料配布）
発行日/毎月1日
エリア/米原市・湖北
新聞折込（中日、産経、京都、日経新聞）
発行所/こほく共同オフィス「たまるん」
〒521-0016 米原市下多良3丁目3
TEL: 090-6054-3536
FAX: 0749-52-2242
E-mail: kohokutamaron@yahoo.co.jp
URL: http://www.tamarun.shiga-saku.net/
こほく共同オフィス「たまるん」が地元企業「（有）あかほり新聞舗」と協働で発行している地元密着型の情報紙です。発行費は新聞販売店が受け持ち、取材・編集・校正をたまるんが行っています。新聞購読者及び公共施設に配布。現在16号目。

■たかしまちづくりかわら版

発行部数/18,000部（無料配布）
発行日/季刊（年4回）
エリア/高島市内全戸配布
発行所/マキノまちづくりネットワークセンター
〒520-1814 高島市マキノ町高木浜1-14-2
TEL/FAX: 0740-28-8002
E-mail: machinet@ex.biwa.ne.jp
URL: http://www.ex.biwa.ne.jp/machinet/
地域で活動しておられる多くの活動団体を誌面で広く紹介することにより、NPOや市民活動への理解や関心が高まればとの思いから「かわら版」の発行に取り組んでいます。表紙画には福山聖子さんのご協力をいただいで、誰もが気軽に読みやすい「かわら版」であるように配慮しています。

■み〜な びわ湖から

発行部数/約3,000部
定価/480円（定期購読、委託販売など）
発行日/季刊
エリア/湖北を中心に県内、西美濃、敦賀など
発行所/長浜み〜な協会
〒526-0059 長浜市元浜町6-14
TEL: 0749-63-0317
FAX: 0749-63-0400
E-mail: biwako@n-miina.net
URL: http://www.n-miina.net/
創刊20年目の今年、100号を発行。特集「100年後に伝えたい100のええもん」を編集しながら、数年の盛衰や、数百年の不易を改めて目の当たりにしました。奥の深い湖北での「知ってるつもり」の再発見は、まだまだ尽きません。

コミュニティエフエム

■Radio sweet FMひがしおうみ

会社名/びわ湖キャプテン株式会社
所在地/〒527-0022
東近江市八日市上之町9-488
TEL: 0748-24-5501
FAX: 0748-24-5502
E-mail: info@815.fm
URL: http://815.fm/
周波数/81.5MHz
受信エリア: 東近江市、近江八幡市、蒲生町、竜王町、日野町、安土町、能登川町、愛荘町、彦根市稲枝地区

話 休日を楽しむ会ニコニコクラブ(高島)

肝っ玉かあさん笑顔で 良知を集めて歩んでいます

七年間手作りしている会報などの資料を見ながら、事務局・高木照代さんからお話を聞かせていただきました。きっかけは七年前のお母さん方の井戸端会議で、「来年から、土曜日全休になる。子どもたちの居場所のために自分たちで何か頑張ってみようか?」となり、ゴザ、ポット、なべ、おやつなどすべて持ち寄りで始めました。

ある時、友人から「おもちゃ図書館」のことを教えてもらい、まだ、悩んでいるところに、おもちゃがどーんと送られてきてしまい、踏ん切りが付き、月一回

の活動が定着しました。県の障害児学童保育への補助を受ける条件は週二回、年間百回の開所という説明を聞き、中川代表が「それくらいできませよ」と啖呵を切ってくれ、これが次の飛躍の瞬間となりました。

二〇〇六年六月、現在の場所を格別の条件で借りることができ、約二十人の障害のある子どもたちが水曜、土曜の週二回、



●バス旅行、朽木のグリーンパーク想い出の森と宝牧場へ行きました。

気軽に訪問し、自由に豊富なおもちゃに触れ、おかあさんなどに見守られて、なごやかな集いが開かれています。

月一回の一日活動日には、皆でつくるお食事会や、近郊まで出向いての多彩な行事をボランティアさんの支援も受けて楽しく実施しています。

中川代表、高木さんの屈託のない笑顔の中に、肝っ玉かあさんの大きさを感ずりました。取材の折、絵が得意な高木綾人君が横に座って歓迎(肩をたたき合おう)をしてくれ、それを見守るおかあさんの穏やかな笑顔にみとれた取材でした。

(おうみネットサポーター 岡崎一郎)

**休日を楽しむ会
ニコニコクラブ**

代表●中川ひとみ
設立●2001年
会員●47名(正会員・賛助会員)
連絡先●事務局・高木照代
高島市マキノ町高木浜1丁目5-5
(有)フジコーポレーションテナントビル2F
TEL/FAX: 0740-28-0071



●ギョーザ作りをして昼食

NPOのわっ

輪

話

和

地域や社会を良くしていきたいとがんばっている市民活動・NPOを紹介します。興味を持たれた団体に連絡してみませんか?

おうみネットを一緒につくりませんか?

おうみネットサポーターを随時募集しています。興味のある方はセンターまでお問い合わせください。

このコーナーは「おうみネット」発行をサポートする「おうみネットサポーター」が市民活動団体・NPOの情報提供から取材・執筆までを行っています。



話

●藤美寮さんにてニコニコクラブの陶芸教室を行いました。

輪



●移築されたスミス記念堂の外観



和

●野性塾に集うアウトドア体験の仲間たち

遺すことは創ること、 守ることは使い続けること

昭和六年といえば、今から約七十五年前、アメリカ人牧師で彦根高等商業学校の英語教師だったパーシー・アルメリン・スミス氏が、地元の大工 宮川庄助氏と協力して和風礼拝堂スミス記念堂を建てました。平成八年の道路拡張工事で取り壊されるはずでしたが、滋賀大学の教員らから起こった市民による保存運動が実を結び、昨年三月に移築再建されました。今では彦根城を望む濠端に、近代化遺産(登録有形文化財)として保存される美しく貴重な姿を見ることができま



●移築されたスミス記念堂(正面)

す。NPO 法人スミス会議は、保存運動をすすめてきた会が、保存だけでなくまちづくりへも活用しようと、地元経済人有志が中心となって、平成十五年に結成されました。この運動が成功した要因としては、第一に、市民がその価値を最初に認識し啓発してきたこと。第二に、再建資金を募金活動により民間調達してきたこと。第三には、残すことが

最終目的ではなく、その後の活用法も併せて提案し、さらに法人化によって継続管理しうる力量を示したことだったと思います。市民の「甲斐性」と「主体性」によって成功したと言えるでしょう。今後の課題は残る再建費用の完済と、更なる利用の促進です。記念堂は一般公開だけでなく、一日五千円で貸し出しもされています。まずは一度訪れて、このユニークな美と気持ち良さをじかに感じ(募金もお忘れなく!)、ここに相應しい利用法に思いを巡らせてみませんか。来年早々には、初めてのウェディング利用も実現しそうだということです。(おうみネットサポーター 平井育恵)



●6月に開催された「TESSOアイコン展」“ならでは”の雰囲気を感じ出されてきています。

特定非営利活動法人 スミス会議

代表●森将豪(理事長)
設立●2003年
会員数●53人
連絡先●彦根市本町2-3-3
TEL: 0749-24-8781 FAX: 0749-27-2621
E-mail: mail@smith-meeting.com
URL: http://smith-meeting.com/

アウトドアチャレンジで育む、 子どものチカラ

NPO 法人野性塾は、二〇〇七年二月より、湖西地域の豊かな自然環境をフィールドに、子どもたちの心の教育に取り組みむことを目的として活動をスタートしました。



●子どもの命綱を手に、わが子のチャレンジを応援し、ひと回り大きな成長をしっかりと見守る親。

野性塾は、子どもたちが本気になって取り組む体験、困難に耐えながら物事を成し遂げる体験、自分の意見や考えを持ち自ら行動する体験、目標に向かって仲間と協力し合い助け合う体験をと

て、子どもたちの「生きる力」を育む活動に取り組んでいます。具体的には、比良の山々では、ロッククライミング・沢のぼり・トレッキングを、びわ湖では手作りいかだ・カヌーを、森の中ではキャンプや野外料理などを行っています。

野性塾は、二〇〇二年より新潟、徳島で活動を続けてきましたが、NPO の設立を機に、現在は関西地域をフィールドとして活動しています。「活動を通して、子どもたちが、新しいことに思いっきりチャレンジしようとするチカラや仲間と一緒に協力し助け合いながら何かを成し遂げようとするチカラなどを体感できる

機会をつくっていききたい」と山口代表は語ります。

体験メニューには日帰りの親子体験企画から四泊五日の冒険キャンプまで多くのプログラムがあります。「仲間と過ごす五日間は新しい体験、刺激に満ちた挑戦の連続。仲間と助け合い、励まし合い、ときにはぶつかり合い:自分の全力を尽くし、満足の笑みを浮かべ、悔し涙を流し: 数々の体験を心に刻みながら、大きくたくましく成長していく瞬間を共有できることは、スタッフにとっても意義深いことですね」と、熱い思いを聞かせていただきました。(おうみネットサポーター 藤原久代)

特定非営利活動法人 野性塾

代表●山口一也
設立●2008年(法人認証) 会員数●10名
連絡先●大津市木戸1547-1 びわ湖バレイ内
TEL: 077-592-8679
e-mail: k-yamaguchi@yasei-juku.or.jp
URL: http://www.yasei-juku.or.jp



●子どもたちの笑顔に出会える瞬間が最高ですね!



NPOミニ講座のお知らせ

NPOの設立・運営についての講座です。NPO法人の設立を考えている方、団体の運営について分からない点のある方、ぜひご参加ください。お一人でも、グループでもご参加いただけます。

- ◆日時：毎月第2水曜日 19:00～20:00
毎月第4金曜日 14:00～15:00
(センターの休館日(祝日の翌日)と重なる場合は実施いたしません)
- ◆場所：淡海ネットワークセンター ぷらっとルーム
※開催日の前日までに、電話、メール、FAX等により、お名前と参加者数をお知らせください。
- ◆講座テーマ
◎第2水曜日「NPO法人設立の手続きについて」
・NPO法人とは何か・法人化のメリット、デメリット・自分たちの活動に法人格は必要か？
・法人設立のための準備、手続き
◎第4金曜日「NPOの組織運営について」
・理事会、総会の運営について・会計について・事業報告書の作成について

第7回(2009年)

「おうみNPO活動基金助成事業」 公開プレゼンテーション開催のお知らせ

第7回(2009年)「おうみNPO活動基金助成事業」選定のための公開プレゼンテーションを行います。この助成事業は、NPOの経営基盤強化を目的に、滋賀県や民間企業などからの資金提供により実施しているもので、書類による第一次審査を通過した団体が、申請事業の内容や取り組み方法などを審査員に説明します。市民活動団体で助成金申請をお考えの方、これから市民活動をとお考えの方、皆さんに参考にしていただける内容です。ぜひお越しください。

- ◆開催日：まち普請事業助成/12月6日(土)
自主事業助成・協働事業助成等/12月7日(日)
※時間は未定
(後日、ホームページに掲載します。)
- ◆会場：県民交流センター(ピアザ淡海)
大津市におの浜1-1-20

フォーラム ～私の“選び”が社会を変える～

地元で生産された野菜を買うことで地元の農家がかんばれる。このお店を利用すると地域の学校の太陽光発電パネルに協力できる。ある商品を買うと障がい者の就労を応援できる。いろいろなメッセージや思いが込められた、いい商品やサービスを“選ぶ”ことで、地域社会を変えていき、元気にしていくことができます。子どもからおとなまで、買い物やお店を選ぶことで、地域づくりに参加してみませんか！そんなヒントが見つかるフォーラムです。会場では市民活動団体との交流コーナーも予定しています。みなさまのご来場お待ちしております。

- ◆日時：11月29日(土) 14:00～17:00
- ◆場所：生活協同組合コープしが コープぜぜ 大津市竜が丘1-1
(JR膳所駅または京阪膳所駅から徒歩8分)
- ◆参加費：500円
- ◆プログラム
・基調講演：奥谷京子さん
女性の起業支援活動、農業や商店街をターゲットに地域活性化事業を行うWWB(Women's World Banking) ジャパン代表。
・事例紹介
【フェリシモ】カタログ販売のフェリシモは、

障がい者と共に作るチャレンジドクリエイティブプロジェクトで開発された商品を提供し、お買い物でユニバーサル社会の実現を目指しています。

【地域交流研究会】ディオス北千里専門店会と地域のさまざまな人がまちづくりをテーマに集まり、情報交換、知恵を出し合い、地域の活性化をすすめています。

【エコカル ヤスドットコム】地域通貨「すまいる」を使って、地産地消を進め、消費者も加盟店も共同太陽光発電所に参加する仕組みを作っています。

～おうみ市民事業創出支援プロジェクト～ 第3回協働サロン “はじめの一步”

- ◆テーマ：生活協同組合とNPOの協働
社会のために動くNPOと組合員のくらしのために動く生協は多くの点で、接点をもっています。それぞれの強みを結合させることによって、新たな事業が生まれる可能性をもっていることから、今回は生協に焦点をあて、サロンを開催します。協働によって新たな事業のきっかけをみつけてみませんか？
- ◆開催内容：コープしがの取り組みについて説明後、自己紹介、名刺交換会、ティーパーティーとなっております。
- ◆日時：11月20日(木) ◆場所：生活協同組合コープしが本部(野洲市) ◆参加費：500円(1人)
- ◆対象：市民活動をされている方、他団体との協働に興味のある方。
※詳しくはホームページ又はチラシをご覧ください。

市民事業相談会の参加団体募集！

相談会では、市民事業プロデュース委員やオブザーバー(県行政諸機関)が、事業創出や組織経営改善のためにアドバイスを行い、また、事業に必要なパートナーとの連携のために様々な主体(専門家・行政・企業・市民)への人材紹介などを行っております。

- ☆「客観的な意見が聞きたい！」 ☆「事業が行き詰まっていて相談してみたい！」という方はまずはご一報下さい。
- ◆お申込：Eメール、電話、FAXなどでお申し込みください。詳しくはHPにてご確認ください。

おうみ未来塾10周年記念企画準備中！ご期待ください！

- ◆日時：2009年1月17日(土) ◆場所：栗東芸術文化会館さくら

淡海ネットワークセンター

(財)淡海文化振興財団

淡海ネットワークセンターは、県内の市民活動、NPOをサポート・ネットワークしています。

- 〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階
- TEL 077-524-8440 ■FAX 077-524-8442
- http://www.ohmi-net.com ■E-mail:office@ohmi-net.com

開館時間/9:00～17:00 水曜日(祝日以外)9:00～21:00
休館日/月曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日

●淡海ネットワークセンターの情報誌「おうみネット」は次のところに配布しています。
県内図書館、琵琶湖博物館、男女共同参画センター、文化産業交流会館、陶芸の森、草津まちづくりセンター、県社協ボランティアセンター、大津市生涯学習センター、栗東芸術文化会館さくら、滋賀銀行、びわこ銀行、滋賀県信用組合、公民館、各地域振興局、県民情報室など

編集後記

高島市の「ニコニコクラブ」取材する機会をいただきありがとうございます。障害児にかかわるお母さん方の笑顔のパワーに感動し、それを支える地域力も感じた取材で、素敵な学びの時間をいただき感謝です。(おうみネットサポーター 岡崎一郎)

外観は和風寺院、よくよく見れば所々に十字や葡萄などの西洋風意匠。室内には教会らしくベンチが並び、清浄で落ち着いた空気は総ひのき造りのなせる業でしょうか。取材のついでにペロタクシーも初体験。NPOがつくる彦根のまちの新しい魅力を実感しました。(おうみネットサポーター 平井育恵)

取材させていただいた内容を文章で表現することの難しさを痛感しました…。活動団体の熱い思いを読者にどのように伝えればいいのか、客観的な活動紹介とのバランスなど限られた文字数との格闘でした。(おうみネットサポーター 藤原久代)